

# TEAC

# UD-301

## 取扱説明書

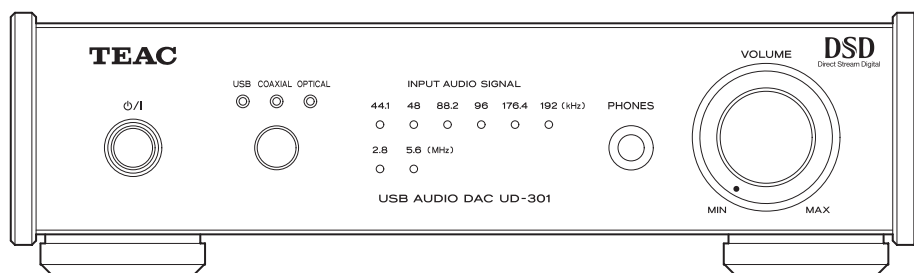
### USBオーディオD/Aコンバーター

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。




末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。










安全にお使いいただくために.....	2	パソコンの音楽を再生する.....	10
付属品.....	5	オートパワーセーブ (APS) 機能.....	12
お使いになる前に.....	5	アップコンバート機能.....	12
ユーザー登録について.....	5	困ったときは.....	13
接 続.....	6	仕 様.....	14
各部の名前とはたらき.....	8	保証とアフターサービス.....	15
基本操作.....	9		

# 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

 <b>警告</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
 電源プラグをコンセントから抜く	<p>万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。</p>
 禁止	<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に交換をご依頼ください。</p>
	<p>付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（5cm 以上）離して置く ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあげる すきまをあげないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>
	<p>この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。</p>
<p>この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>	

	<h2 style="margin: 0;">警告</h2> <p style="margin: 0;">以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p style="text-align: center;">指示</p>	<p><b>電源プラグにほこりをためない</b> 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年1回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 <p style="text-align: center;">禁止</p>	<p><b>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない</b> 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>
 <p style="text-align: center;">分解禁止</p>	<p><b>この機器のカバーは絶対に外さない</b> カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。</p> <p><b>この機器を改造しない</b> 火災・感電の原因となります。</p>

	<h2 style="margin: 0;">注意</h2> <p style="margin: 0;">以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
 <p style="text-align: center;">電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p><b>移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す</b> ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p> <p><b>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く</b> 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。</p>
 <p style="text-align: center;">指示</p>	<p><b>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する</b> また、接続は指定のケーブルを使用する</p> <p><b>電源を入れる前には、音量を最小にする</b> 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p> <p><b>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする</b> 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p><b>この機器には、付属の電源コードを使用する</b> それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>

# 安全にお使いいただくために（続き）



## 注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない  
湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない  
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない  
火災・感電やけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない  
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。  
必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない  
感電の原因となることがあります。



愛情点検

内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

5年に1度は、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。

“DSD” is a registered trademark.

Microsoft, Windows and Windows Vista are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

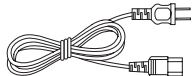
Apple, Macintosh and Mac OS are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Other company names and product names in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

## 付属品

万一付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店、または弊社 AV お客様相談室（裏表紙に記載）にご連絡ください。

電源コード × 1



取扱説明書（本書、保証書付き） × 1

## お使いになる前に

### ⚠ 設置の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

## お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

## ユーザー登録について

TEAC のウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。  
<http://teac.jp/support/registration/>

### 音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。

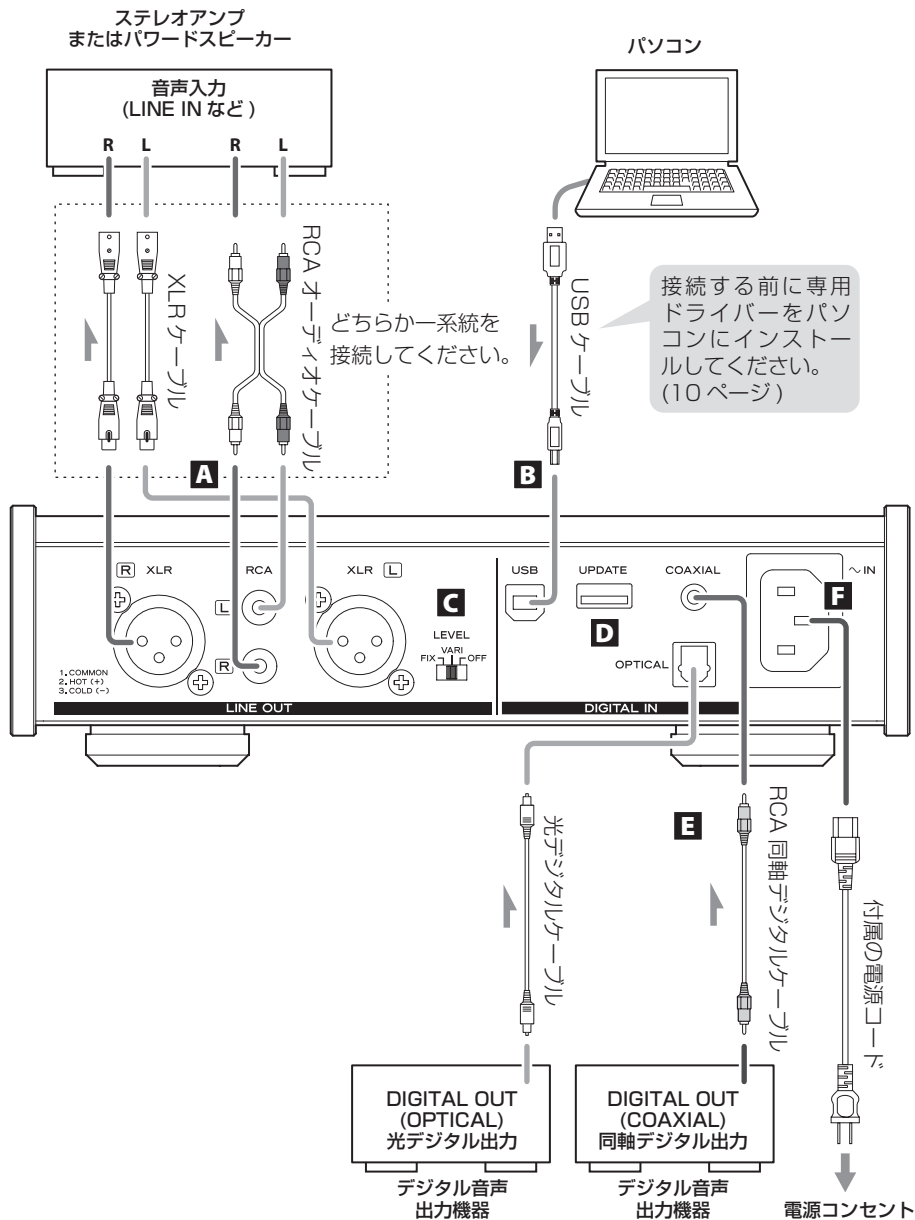
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



# 接続

⚠ 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。
- 各プラグはしっかりと差し込んでください。



## A アナログ音声出力端子

2チャンネルのアナログ音声を出力します。XLR 端子または RCA 端子をステレオアンプまたはパワードスピーカーと接続してください。接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR : バランス型 XLR ケーブル

RCA : RCA オーディオケーブル

本機の R 端子とアンプの R 端子、本機の L 端子とアンプの L 端子をそれぞれ接続してください。

## B USB 入力端子

パソコンのデジタル音声を入力します。パソコンの USB 端子と接続してください。接続には市販の USB ケーブルをお使いください。

- Windows パソコンの場合は、本機と接続する前に専用ドライバーをパソコンにインストールする必要があります。Mac パソコンの場合はドライバーをインストールする必要はありません。(10 ページ)

## C 出力レベル切替スイッチ (LEVEL)

アナログ音声出力端子から出力する音声のレベルを選択します。

FIX: 常に最大音量が出力されます。アンプ側で音量を調整したい場合に選択してください。

ヘッドホンを挿した状態でも出力されます。

VARI: フロントパネルのボリュームつまみに連動して出力されます。本機で音量調整を行いたい場合に選択してください。ヘッドホンを挿すと出力されなくなります。

OFF: 常に出力されません。

- どの位置を選択しても、ヘッドホン出力はフロントパネルのボリュームつまみに連動します。

## D メンテナンス用コネクタ (UPDATE)

メンテナンスで使用します。弊社サービス部門の指示が無い限り、何も接続しないでください。

## E デジタル音声入力端子

デジタル音声を入力します。デジタル音声出力機器のデジタル音声出力端子と接続してください。

COAXIAL : RCA 同軸デジタルケーブル

OPTICAL : 光デジタルケーブル (TOS)

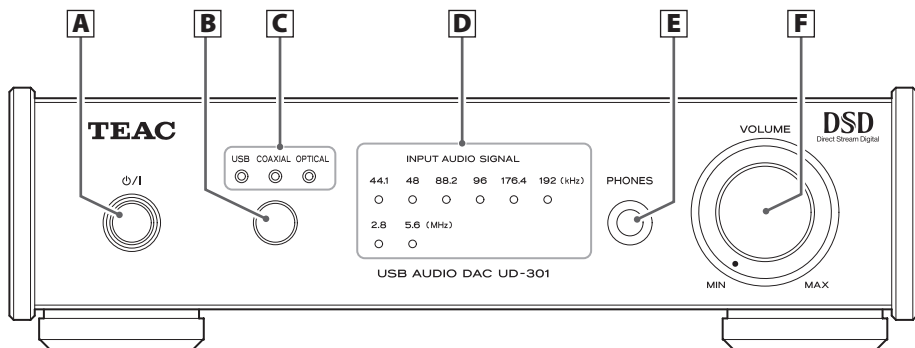
## F 電源インレット

付属の電源コードを差し込んでください。

全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

- ⚠ 付属の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

# 各部の名前とはたらき



## A スタンバイ / オンボタン (φ/I)

電源のスタンバイ / オンを切り換えます。電源がオンのときは、ボタンの周囲が青く点灯します。

- 本機はスタンバイ (オフ) のとき、待機電力が消費されるので「オフ」と記載せず、「スタンバイ」または「スタンバイ状態」と記載します。

## B 入力ソース切替ボタン

このボタンを押すたびに入力ソースが切り換わります。

## C 入力インジケータ

入力中のソースが点灯します。

入力信号がデジタルオーディオ信号ではないときや、PCM や DSD フォーマット以外のデジタル音声 (Dolby Digital、dts、AAC など) が入力されたときは、入力インジケータが点滅します。

## D サンプリング周波数インジケータ

入力されたデジタル音声信号のサンプリング周波数を表示します。

入力信号がロックすると入力信号のサンプリング周波数が点灯します。入力信号がないときや、入力信号が正しくロックしないときは点滅します。

\*32 kHz の場合、サンプリング周波数インジケータは点灯しませんが、入力インジケータは点灯します。

## E ヘッドホン端子 (PHONES)

ヘッドホンを接続します。6.3 mm ステレオ標準プラグをご使用下さい。

## F ボリュームつまみ (VOLUME)

出力レベル切替スイッチ (LEVEL) を「VARI」に設定している場合、ボリュームつまみに連動してアナログ音声出力端子から音声が出力されます。 (7 ページ)

ヘッドホンを挿した場合はヘッドホンの音量を調節することが出来ます。

- ⚠ **必ず音量を MIN の位置まで下げてからヘッドホンを着けるようにしてください。** また、ヘッドホンを耳にかけたまま、電源のオン / スタンバイや、ヘッドホンプラグの抜き差しを行わないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

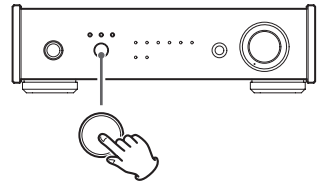
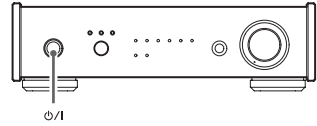


# 基本操作

## 1 スタンバイ / オンボタン (⏻/⏻) を押して電源をオンにする。

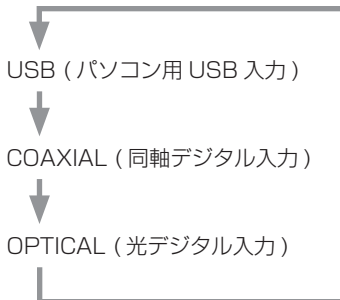
### 注意

パワーアンプを接続して使用する場合（本機をプリアンプとして使用する場合は、出力レベル切換スイッチ (LEVEL) は必ず「VARI」に設定し、ボリュームつまみを最小にした状態でパワーアンプの電源をオンにしてください。間違った設定でパワーアンプの電源を入れるとスピーカーから大音量の音が出てスピーカーを破損したり難聴等になる恐れがあります。



## 2 入力ソース切換ボタンを押して、入力ソースを選ぶ。

入力ソース切換ボタンを押すたびに、以下のように入力が切り換わります。



選択したソースの入力インジケータと、入力されたサンプリング周波数のインジケータが点灯します。

- PCM や DSD 以外のデジタル音声フォーマット (Dolby Digital、dts、AAC など) が入力されたときは、入力インジケータが点滅します。  
このような場合、接続しているデジタル音声出力機器のデジタル出力フォーマットを「PCM」に設定することで再生が可能になる場合がありますので、接続しているデジタル音声出力機器の取扱説明書をご参照のうえ設定してください。
- 入力信号がないときや入力信号に正しくロックできないときは、サンプリング周波数インジケータが点滅します。
- 入力信号のサンプリング周波数が 32 kHz の場合、サンプリング周波数インジケータは点灯しませんが、入力インジケータは点灯します。
- Windows パソコンの場合、USB ケーブル接続で音楽ファイルを再生するときは、あらかじめ専用ドライバーをパソコンにインストールしておく必要があります。10 ページ)

## 3 接続した機器で再生を始める。

# パソコンの音楽を再生する

## ドライバーのインストール

### Mac OS X の場合

Mac OS X 10.6.4 以降 (Snow Leopard)

OS X Lion 10.7

OS X Mountain Lion 10.8

OS X Mavericks 10.9

で動作します。(2014年3月現在)

- MacOS 標準のドライバーで動作するためドライバーをインストールする必要ありません。

### Windows OS の場合

#### 専用ドライバーをパソコンにインストールする

本機でパソコンに記録されている音楽ファイルの再生を行うには、パソコンに専用ドライバーをあらかじめインストールしておく必要があります。以下の弊社ダウンロードページより専用ドライバーをダウンロードしてください。

<専用ドライバーソフトダウンロードページ>

<http://teac.jp/product/ud-301/downloads/>

USB 接続できるパソコンの OS は

Windows XP (32bit 版)

Windows Vista (32bit 版、64bit 版)

Windows 7 (32bit 版、64bit 版)

Windows 8 (32bit 版、64bit 版)

Windows 8.1 (32bit 版、64bit 版)

のいずれかとなります。これ以外の OS での動作保証はいたしません。

#### ご注意

パソコンと USB ケーブルで接続する前には、必ず専用ドライバーソフトをあらかじめインストールしておいてください。

ドライバーがインストールされていないパソコンと本機を接続した場合、正しく動作しません。その後、正常にドライバーをインストールする

ことができなくなる場合がありますのでご注意ください。また OS に Windows XP をお使いの場合には、パソコンの動作が著しく遅くなってしまい、パソコンの再起動が必要となる場合があります。

専用ドライバーのインストール手順の詳細については弊社ダウンロードページをご覧ください。

パソコンのハードウェア、ソフトウェアの構成によっては、上記の OS を使用していても動作しない場合があります。

### 転送モードについて

本機は HIGH SPEED アシンクロナスモードで接続します。

伝送可能サンプリング周波数は 44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz/176.4kHz/192kHz です。

DSD の場合は、2.8 MHz、5.6 MHz です。

正しく接続されると、OS のオーディオの出力先として、「TEAC USB AUDIO DEVICE」が選択可能になります。

アシンクロナスモードでは、パソコンから送出されたオーディオデータを本機側のクロックを使って処理しますので、データ伝送時のジッターを抑制することができます。

### 再生アプリケーションソフト「TEAC HR Audio Player」のダウンロード

DSD ファイルに対応した再生アプリケーションソフト「TEAC HR Audio Player」(Mac 版、Windows 版)を以下の弊社ダウンロードページよりダウンロードして、お使いいただくことができます。

<「TEAC HR Audio Player」ダウンロードページ>

[http://teac.jp/product/hr\\_audio\\_player/downloads/](http://teac.jp/product/hr_audio_player/downloads/)

## パソコン内の音楽ファイルを再生する

### 1 USBケーブルでパソコンと本機を接続する。

- Windows パソコンの場合はあらかじめ専用ドライバーをパソコンにインストールしておく必要があります。(10 ページ)
- ケーブルは本機の接続端子に合うものをご使用ください。

### 2 パソコンの電源をオンにする。

- パソコンが正常に立ち上がったことを確認してください。

### 3 本機のスタンバイ / オンボタン (⏻) を押して電源をオンにする。

### 4 入力ソース切換ボタンを押して、「USB」を選ぶ。

### 5 パソコンで音楽ファイルの再生を開始する。

パソコン側で音量調節が可能な場合は音量を最大に設定して、本機の音量つまみ (VOLUME) で音量を調整するとより良い音質が得られます。

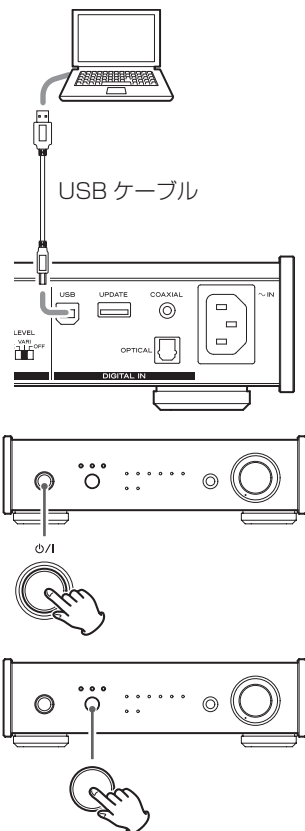
- TEAC HR Audio Player をお使いの場合、パソコン側で音量を調節することは出来ません。本機の音量は再生開始時には最小にし、徐々に大きくして調整してください。

- パソコンから本機をコントロールしたり、本機からパソコンをコントロールすることはできません。

- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときに、以下の操作を行わないでください。パソコンの誤動作の原因となります。これらの操作は必ず音楽再生ソフトを終了してから行ってください。
  - USBケーブルを抜く
  - 本機の電源をスタンバイにする
  - 本機の入力を切り換える

- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときは、パソコンの操作時のサウンドも再生されます。操作時のサウンドを再生したくない場合は、パソコン側で設定を行ってください。

- 音楽再生ソフトを起動した後で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に設定した場合は、音楽ファイルが正しく再生されないことがあります。この場合は、音楽再生ソフトを再起動するか、パソコンを再起動してください。



# オートパワーセーブ (APS) 機能

本製品には、オートパワーセーブ機能があります。  
本製品は入力信号がロックされていない状態で、約 30 分間経つと自動的にスタンバイになるオートパワーセーブモード（待機時消費電力 0.5 W 以下）を備えています。

- 出荷時はオートパワーセーブ機能はオンに設定されています。

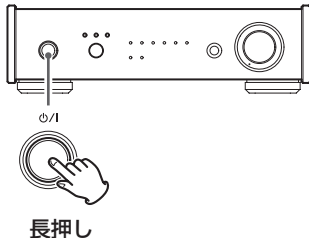
## 確認方法

オートパワーセーブがオフの場合は電源オン時に入力インジケータがしばらく全点灯します。

## オートパワーセーブ機能の設定

電源がオンの状態で、スタンバイ / オンボタン (⓪/I) を長押しすると 5 秒ほどで入力インジケータが全点灯又は全消灯します。

- 全消灯：オートパワーセーブ オン
- 全点灯：オートパワーセーブ オフ



# アップコンバート機能

デジタル入力 (USB\*, OPTICAL 又は COAXIAL) 時にアップコンバート機能が使用出来ます。

(\* DSD はアップコンバートされません。)

入力ソース切換ボタンを 5 秒程度長押しするとサンプリング周波数インジケータが以下の様に点灯します。

- 44.1 kHz と 48 kHz が点灯：アップコンバートオフ
- 44.1 kHz から 96 kHz まで点灯：アップコンバート設定 1
- 44.1 kHz から 192 kHz まで点灯：アップコンバート設定 2

## 入力周波数とアップコンバート後の周波数の関係

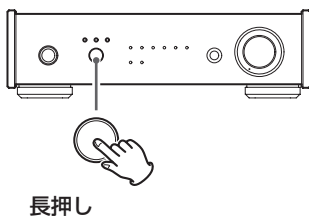
入力周波数	設定 1	設定 2
44.1 kHz	88.2 kHz	176.4 kHz
48 kHz	96 kHz	192 kHz
88.2 kHz	アップコンバートなし	176.4 kHz
96 kHz	アップコンバートなし	192 kHz

- 176.4 kHz 以上の周波数を入力してもアップコンバートされません。

## 表示

アップコンバート時はサンプリング周波数インジケータが 2 つ点灯します。

左側の LED が入力周波数、右側の LED がアップコンバート後の周波数を示します。



## 困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。

一般	電源が入らない	電源コードがきちんと電源に接続されているか、差し込みが不完全ではないかを確認してください。コンセントがスイッチ式の場合、オンになっているか確認してください。  コンセントに他の電気機器を接続して、電気が供給されているか確かめてください。
	アナログ音声端子から音が出ない	出力レベル切換スイッチ (LEVEL) が「OFF」又は「VARI」を選択した状態でボリュームつまみが最小になっていませんか？
パソコンとの接続	パソコンで本機が認識されない	USB 接続できるパソコンの OS は下記のいずれかとなります。  Microsoft Windows Windows XP (32-bit)、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 <ul style="list-style-type: none"><li>Windows パソコンの場合は専用ドライバーのインストールが必要です。(10 ページ)</li></ul> Apple Macintosh Mac OS X 10.6.4 以降 (Snow Leopard) OS X Lion 10.7 OS X Mountain Lion 10.8 OS X Mavericks 10.9 これ以外の OS での動作保証はいたしません。
	雑音がる	音楽ファイルを再生中に他のアプリケーションを起動すると、パソコンの CPU の負荷が増大することにより音が途切れたり、ノイズが発生する場合があります。再生中は他のアプリケーションを起動しないでください。
	音楽ファイルが再生できない	パソコンと本機を接続して、本機の入力を「USB」に切り換えてから、音楽再生ソフトを起動して再生を開始してください。 音楽再生ソフトを起動した状態で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に切り換えた場合は、音楽データが正しく再生できないことがあります。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

## アナログ音声出力

端子	XLR 端子 (2 チャンネル) × 1 RCA 端子 (2 チャンネル) × 1
出力インピーダンス	XLR : 200Ω RCA : 100Ω
最大出力レベル (1 kHz、フルスケール、10kΩ 負荷時)	XLR (0dB 設定時) : +14 dBu RCA : 2.0 Vrms
周波数特性	5 Hz ~ 55 kHz ( - 3 dB) <sup>1)</sup>
S/N 比	105 dB
歪率	0.0015%(1 kHz) <sup>1)</sup>

## ヘッドホン出力

端子形状	6.3 mm ステレオ標準ジャック
最大出力	100mW+100mW ( 負荷 32Ω 0.1.% 歪時 )
適合負荷インピーダンス	16 ~ 600 Ω

## デジタル音声入力

RCA 端子 × 1 ( 入力インピーダンス 75Ω )	0.5 Vp-p
光デジタル端子 × 1	- 24.0 ~ - 14.5 dBm peak
USB-B 端子	USB2.0 準拠
対応サンプリング周波数 (PCM)	32 <sup>2)</sup> /44.1/48/88.2/96/176.4/192 <sup>3)</sup> kHz
対応ビット数	16/24/32 <sup>4)</sup> ビット
対応サンプリング周波数 (DSD)	2.8/5.6MHz (USB 接続時のみ対応)

- 1) サンプリング周波数 192 kHz の場合
- 2) 32 kHz の場合、本機のサンプリング周波数インジケータは点灯しませんが、入力インジケータは点灯します。
- 3) 光デジタル入力時は最大 96 kHz
- 4) USB 入力時のみ

## 一般

電源	100V AC 50-60 Hz
消費電力	10W
外形寸法	215 mm x 61 mm x 238 mm (WxHxD、突起部を含む)
質量	2.0 kg
許容動作温度	+ 5 °C ~ + 35 °C
許容動作湿度	5 % ~ 85 % ( 結露のないこと )
許容保管温度	- 20 °C ~ + 55 °C

## 付属品

電源コード × 1
取扱説明書 ( 本書、保証書付き ) × 1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

# 保証とアフターサービス

よくお読みください

## ■保証書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は、お買い上げの際に販売店が所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年です。

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）、もしくは代替製品を製造後8年間保有しています。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にお問い合わせください。

## ■修理を依頼されるときは

13ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責についてはご容赦ください。

## 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

### 修理料金の仕組み

- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
- 部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- その他：製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

### 修理の際ご連絡いただきたい内容

- 型名：USB オーディオ D/A コンバーター UD-301
- シリアルナンバー：
- お買い上げ日：
- 販売店名：
- お客様のご連絡先
- 故障の状況（できるだけ詳しく）

## ■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

### 分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。  
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。  
当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

# 保証書

品名	USBオーディオD/Aコンバーター	
および型名	UD-301	
機番		
保証期間	本体	1年

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お買上げ日	年 月 日		所在地(名称(印))
お客様	お名前	電話番号 ( )	販売店
	ご住所		

見

本

## 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合は、ティアック修理センターが無料修理いたします。
  - 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
  - ご転居、ご贈答品等でお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
  - 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
    - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
    - お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
    - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
    - 接続している他の機器に起因する故障および損傷
    - 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
  - メンテナンス
  - 本書の提示がない場合
  - 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

## ティアック株式会社 〒206-8530

この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせはAVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~12:00/13:00~17:00です。AVお客様相談室



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。

## 東京都多摩市落合1-47

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、日・祝日・弊社休業日を除く9:30~17:00です。

ティアック修理センター



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。